

学位論文審査結果の要旨

博士課程 ①・乙	第 47 号	氏 名	Baatarsuren Batmunkh
審 査 委 員		主 査 氏 名	竹岡寛幸
		副 査 氏 名	七島篤志
		副 査 氏 名	日高勇一
[論文題名]			
Estrogen accelerates cell prolieation through estrogen receptor α during rat liver regeneration model after partial hepatectomy			
[要 旨]			
<p>エストロゲンは種々の組織において細胞増殖に影響を及ぼすことが知られているが、肝再生におけるエストロゲンの意義については不明な点が多い。本研究は肝部分切除（70%切除）ラットモデルを用いて、肝再生における肝細胞エストロゲン受容体の意義を、組形態学的・組織化学的手法によって詳細に検証したものである。</p> <p>その結果、正常肝小葉におけるエストロゲン受容体（ERα）発現領域がオスとメスのラット間で異なり、また部分肝切除後のERα発現パターンにも特定の雌雄差があることを示したうえで、エストロゲン刺激により再生肝における肝細胞の細胞増殖活性（PCNA免疫染色陽性率）が亢進することを明らかにした。この増殖活性亢進はエストロゲン受容体阻害剤で抑制されることから、エストロゲン受容体の活性化を介したものと考えられる。実際、エストロゲン受容体活性化による転写活性亢進が生じていることも、Southwestern組織化学法により示した。</p> <p>本成果は肝再生現象の分子機構に新たな知見を持ち込むものであり、医学・医療に資する基礎研究成果であると云え、学位論文に値する成果と判断した。</p>			